



種 別	県指定 民俗文化財 (無形)
名 称	わきのさわのさんしゃぎょうじ 脇野沢の山車行事
指定年月日	平成12年4月19日
保 護 団 体	蛭子山町印 船山町印 脇野沢八幡宮

脇野沢八幡宮は寛永元年(1624)に創建されたと伝えられている。明治以前は「岩清水千手観音社」と称した神仏習合の社堂であったが、明治に入り八幡宮と改めている。

寛政年間(1789～1800)に能登出身の船商が神輿と神具一式をもたらし、神輿渡御の祭礼が始まったと言われている。

毎年8月15日～17日に行われる祭礼では、神楽、神輿と2台の山車が運行する。山車は蛭子人形を乗せた屋台型の蛭子山と、菊童子の人形を乗せた船型の船山で、海運と経済的繁栄によってもたらされたものである。